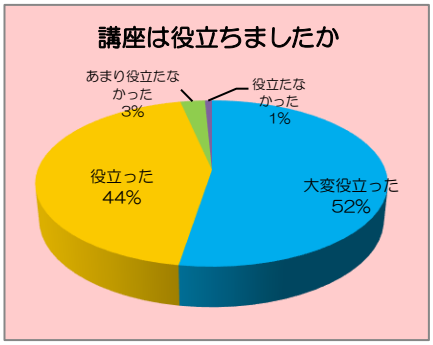
「福祉の仕事」出前講座 実績

宮崎県福祉人材センターでは平成２６年度から、未来の福祉の担い手となる若年層から福祉への関心を高め、将来的な福祉の仕事への進路選択のきっかけ作りを目的として、宮崎県内の中学校・高等学校を対象とした「福祉の仕事」出前講座を実施しています。

これまでに １１５校の中学・高等学校等併せて ６，５０８人の生徒が受講しています。

令和元年度実績	校　数	受講者数
小中学校	１ 校	４ 名
中 学 校	１５ 校	９３１ 名
高等学校	５ 校	１５１ 名
大　　学	１ 校	７ 名
合　　計	２２ 校	１，０９３ 名



受講後アンケートより

<中学校>

- 将来の夢に役に立つ話で、とても分かりやすく保育の仕事や介護の仕事も面白そうだと感じました。
- 福祉の仕事の内容ややりがい、資格など、丁寧に説明していただいたので分かりやすかったです。
- 支援を受ける人たちの幅が広いことに驚いた。仕事の種類もいろいろあることを知った。
- 介護は、キツイ、汚い、給料安い（3K）だと思っていたけれど、違う面を知ることができたのでよかった。福祉について良い印象になった。
- 障がいのある方に対しての接し方が難しいと思っていたけど、明るい職員が沢山いて、関わってみたいなと思った。
- 将来の進学に役立ったと思います。これから困っている人がいたら、積極的に手を貸したいです。

<高等学校>

- 介護福祉士や保育士以外にも調理師や栄養士、生活相談員、理学療法士など自分が考えていたもの以外にも沢山の仕事があることを知れた。
- 実際に現場の生の声を聴くことができて、とても為になりました。本やインターネットにも載っていない情報を教えていただけて、進路選択に役立ちました。
- 仕事内容ややりがいを知ることによって、以前よりも福祉に対する関心が高まりました。
- 自分が持っているイメージとは違う話などを聞いて、福祉の仕事に対するイメージが変わりました。

<教諭>

- 福祉に関する学習のスタート時に毎回「出前講座」を活用しています。必要な知識に加え、実際現場に立たれている方のお話もあるので、生徒にとって「福祉の仕事」が分かりやすいものとなっています。
- 説明が分かりやすく、グループワークも生徒にとって身近な問題だったので、話し合いも活発になりました。
- お仕事をされるきっかけややりがい、喜びなど、中学生にも分かりやすく、実演もあり、生徒は楽しく活動できていた。
- 福祉の入門にピッタリな内容で、生徒たちはその後の学習に意欲的に取組めた。